

VOL.13
平成26年9月

かごしま

みどりの基金だより



小さな探検 田畑より子

特 集

- 緑の少年団の活動状況
- 市町村みどり推進協議会の取組



公益財団法人 かごしまみどりの基金



はじめに

鹿児島県は、現在、県土の約3分の2を豊かな森林に覆われています。これらの森林は、木材等を生産するだけでなく、水資源をかん養し、山地に起因する災害を抑止し、生物多様性の維持に貢献し、二酸化炭素の吸収・固定を通じて地球温暖化防止に貢献しています。また、森林との触れあいが私たちの心身の健康を増進する効果を持っていることも実証されるようになってきました。このように、森林は私たちの生活に欠くことのできない重要な役割を果たしています。

一方、産業や経済・社会の高度化により、私たちの暮らしは昔に比べ格段に豊かになりました。お金さえ出せば、生活に必要なものはもちろん、健康さえも手に入れることができそうな状況です。こうしたことから、森林は、多くの県民にとって、特に意識することのない縁遠いものとなっています。

しかし、私たちを取り巻く様々な環境を考えると、森林の多面的な働きは、これまで以上に重要になるのではないかと考えられます。

当かごしまみどりの基金では、今後とも、こうした森林の重要性についての啓発や森林整備、緑化の推進に取り組んで行くこととしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

ここに、当基金の平成25年度の実績の概要を紹介させていただきます。

平成26年9月

公益財団法人 かごしまみどりの基金

目次

I 緑化推進活動	
1 緑化推進の意義	1
2 緑化推進活動の歴史	1
3 本県における緑化推進体制	1
II 緑の募金	
1 緑の募金活動	2~4
2 緑の募金の使い途	5
III 緑の募金等を活用した取組の概要	
1 普及・啓発（緑化推進イベント等）	6
① みどりの感謝祭	6
② 九州森林の日	6
③ 地区植樹祭等	7
④ かごしま木材まつり	7
2 緑の少年団の育成と活動支援	7
① 緑の少年団の目的と組織	7
② 活動の状況	8
特集1 緑の少年団の活動状況	10~12
3 森林ボランティアの育成と活動促進	13
① 森林ボランティアの育成	13
・ かごしま森林(もり)の学校	13
・ 森林ボランティア技術研修	13
② 森林ボランティアの日の活動	14
③ 森林ボランティア連絡会	14~15
4 緑の募金助成事業	16~18
5 名木・古木等緑の文化財保全事業	18~19
6 企業等との連携による森づくり	19
特集2 市町村みどり推進協議会の取組	21~23
(参考) 公益社団法人国土緑化推進機構の事業(本県関係分)	24
■ かごしまみどりの基金の組織体制	
(1) 理事会・評議員会・運営協議会	25
(2) 事務局	26

I 緑化推進活動

1 緑化推進の意義

森林は、木材等を供給するだけでなく、水資源を蓄えたり、洪水や山地災害等を抑えたり、あるいは二酸化炭素の吸収・固定を通じて地球の温暖化防止に貢献するほか、私たちの生活に潤いを与えるなど、人間が生きていく上で欠くことのできない多くの恵みをもたらしています。

このような森林やみどりを守り育てていくことは、私たちの安全で豊かな生活環境を形成する上で重要なことです。

2 緑化推進活動の歴史

我が国では、古くから生活、産業、文化等のあらゆる面において木材を多用してきました。人口の増加や産業の発展に伴い過度の森林伐採が行われ、明治時代までには我が国の森林は広い範囲でかなり荒廃していたようです。加えて先の大戦の復興などで大量の木材が必要とされ、森林はさらに伐採されました。

そうした中、国土復興への願いを込めて「荒れた国土に緑の晴れ着を」をスローガンに、昭和25年、天皇陛下をお迎えして、初めての全国植樹祭が開催されました。

これを契機として、「緑の羽根募金」活動を中核とした国土緑化活動が始められています。

その後、平成7年に「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（通称「緑の募金法」）が制定されたことにより、「緑の羽根募金」は「緑の募金」として法的な根拠を得ました。

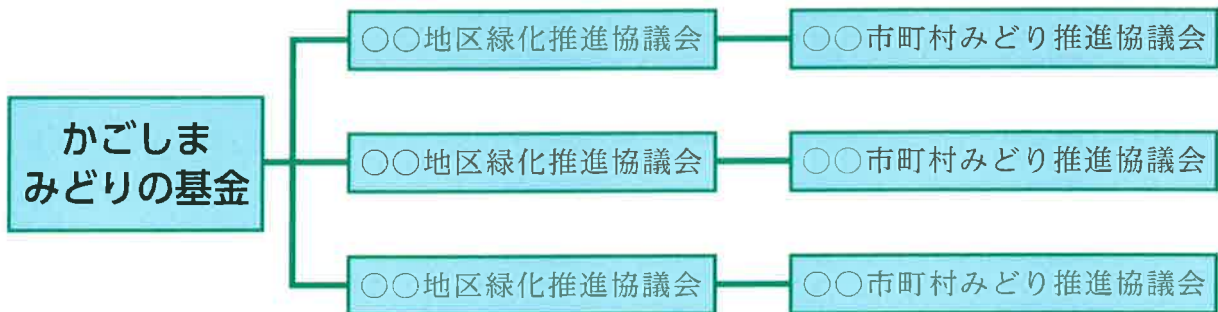
今日では多くの国民の賛同のもと、この緑の募金活動を核として幅広い緑化推進活動が進められています。

3 本県における緑化推進体制

鹿児島県では、昭和26年に「鹿児島県緑化推進委員会」が設立され、同会を中心にして県土の緑化推進運動が展開されることとなりました。

平成5年9月13日には、県、市町村、企業・団体等の寄付により「財団法人かごしまみどりの基金」が設立され、その後平成23年7月1日に公益財団法人となり、緑化推進活動を推進しています。

また、県の各地域振興局・支庁を単位として「地区緑化推進協議会」が、県内全ての市町村に「市町村みどり推進協議会」が設置されており、かごしまみどりの基金と連携して緑の募金活動に取り組むとともに、独自の緑化推進活動を行っています。



Ⅱ 緑の募金

1 緑の募金活動

現在の緑の募金は、平成7年に制定された「緑の募金法」に基づいて実施されており、本県では公益財団法人かごしまみどりの基金のみがその実施団体として認定されています。

募金活動は、かごしまみどりの基金、地区緑化推進協議会、市町村みどり推進協議会が連携して進めており、町内会活動等を通じた家庭募金を中心として、企業募金、職場募金、学校募金、街頭募金など様々な方法で協力をいただいています。

【募金期間】

春期 2月1日～ 4月30日

秋期 9月1日～10月31日

【募金の実績】

鹿児島県の平成25年度緑の募金実績

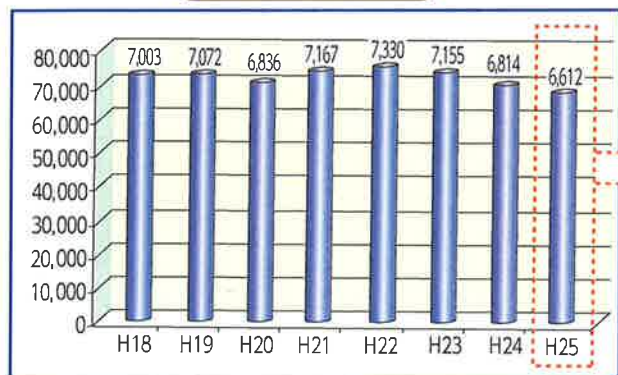
6,612万円（目標額：1億円）



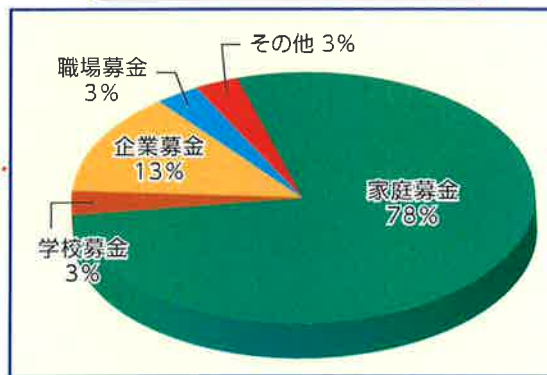
緑の募金スタート式での理事長（知事）のスタート宣言。この後、森林ボランティアなど参加者は街頭キャンペーンに出発しました。（2月3日）

平成25年度の募金額は、約6,612万円でした。また、募金の態様別の内訳は右のグラフのとおりで、町内会活動などを通じた家庭募金が中心となっています。

募金額の推移



平成25年度募金額の推移



【募金活動の態様】

(1) 市町村みどり推進協議会を通じた募金

募金の大部分を占めるのは、市町村みどり推進協議会を通じた家庭募金、学校募金等です。

家庭募金については、自治会等の全面的な協力をいただいています。

(2) 企業・団体募金

最近では社会貢献活動（CSR）の一環として、「緑の募金」に協力してくださる企業や団体も増えてきています。また、企業・団体の職員の方々が職場募金として散り組んでくださる例もあります。

企業からの募金の事例

【アサヒビール株式会社鹿児島支社】

アサヒビール株式会社では、「『うまい！を明日へ』プロジェクト」として、期間中に各都道府県で消費されたスーパードライの対象商品1本につき1円を、その都道府県の自然や環境の保護・保全等の活動に寄付する活動を行っています。

鹿児島支社では、森林整備や子どもたちの森林学習活動などに寄付することとしており平成21年度から毎年緑の募金に多額の寄付をいただいています。

なお、昨年、同社のこれまでの取組に対し、農林水産大臣から感謝状が贈られました。



緑の募金スタート式での募金贈呈



大臣感謝状を理事長から伝達

【鹿児島トヨペット株式会社】

トヨペット株式会社では、緑豊かな街づくりをめざし、地域に根ざした社会貢献活動として、ふれあいグリーンキャンペーンを全国展開しています。

平成26年4月7日、県庁県民ホールでこのキャンペーンが開催され、大気浄化能力の高い環境改善植物「キルシエレッド」等が県へ贈呈されました。

この席で鹿児島トヨペット株式会社から、緑の募金を寄付していただきました。



かごしまトヨペット(株)からの募金贈呈

【鹿児島信用金庫・鹿信ハッピー会連合会】

鹿児島信用金庫では、「かしん『緑の杜』計画」に基づいて環境保全活動を進めることとしており、その一環として、森林整備を目的とした緑の募金を寄付していただきました。

また、鹿児島信用金庫の関連企業等で結成されている鹿信ハッピー会連合会も、鹿児島信用金庫の取組に賛同され、緑の募金を寄付していただきました。



募金の贈呈
左：鹿児島信用金庫
右：鹿信ハッピー会連合会



過去3年間に、年間10万円以上の寄付をくださった企業・団体は次のとおりです。

アサヒビール株式会社鹿児島支社、鹿児島トヨペット株式会社、京セラ株式会社鹿児島国分工場、同川内工場、鹿児島信用金庫、鹿信ハッピー会連合会、株式会社南九州ファミリーマート、えむ・ふぁみりー会、株式会社鹿児島銀行、鹿児島銀行従業員組合、株式会社フェニックス、生活協同組合コープかごしま、NTT西日本鹿児島支社、有限会社大竹商店、南九州ビバレッジサービス株式会社、南九州コココーラボトリング株式会社、白玉醸造合名会社、九州電力株式会社鹿児島支社、ダイドードリンコ株式会社西日本営業部、ハラダ製茶株式会社、有限会社西林業、鹿児島県森林土木協会日置支部

(3) 店頭募金

コンビニエンスストアやファミリーレストランをはじめとする多くの商業施設で、店頭募金箱を置いていただき、来店者の協力を頂いています。



(株)南九州ファミリーマートや(株)フェニックス（吹上庵などを経営）では、グループの県内各店舗に「緑の募金」箱を設置していただいています。

(4) 街頭募金、イベント募金

みどりの基金では、森林ボランティアや緑の少年団の協力を得ながら、街頭募金活動を行うほか、様々なイベントでも緑の募金の周知を図っています。

また、市町村みどり推進協議会でも同様の取組をしています。



緑の少年団も参加しての街頭募金活動
多くの人の善意が寄せられました。

(5) 緑の募金対応の飲料水自動販売機

ペットボトルや缶など飲料水の販売会社とかごしまみどりの基金との契約に基づいて、自動販売機での売上金の2%を緑の募金として寄付していただく取組を行っています。

現在、6つの販売会社と契約し、県の施設や企業など県下で20数カ所に設置しています。



(6) カレンダーバザー展

全国の多くの企業等から寄贈していただいたカレンダーを県民の皆様にご覧いただき、売り上げの全額を緑の募金とするものです。

平成25年度は、12月20～22日に鹿児島市の「ダイエー鴨池店」で、21～22日には鹿屋市の「プラッセだいわ」、霧島市の「イオン準人国分ショッピングセンター」で、多くの森林ボランティアの協力をいただきながら実施しました。



鹿児島会場のもよう

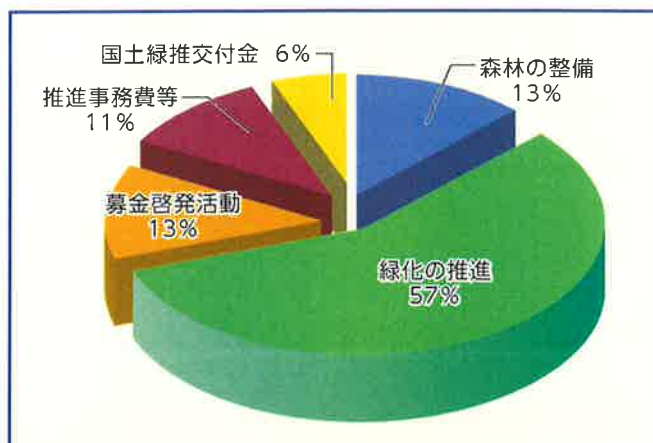
2 緑の募金の使い途

緑の募金については、緑の募金法で、森林の整備、緑化の推進及びこれらについての国際協力並びに緑の募金の啓発・普及に関する事務・事業に使用するように定められています。

本県での平成25年度の事業費の割合は、「緑化の推進」が57%、「森林の整備」が13%、「普及啓発」が13%などとなっています。

なお、各市町村みどり推進協議会によりとりまとめられた募金については、募金額の6割が各々の協議会に交付され、市町村独自の森林整備や緑化活動等に活用されています。(右のグラフは、市町村分も含んでいます。)

緑の募金の使い途 (実績)



緑化運動のシンボル

緑の羽根

「緑の羽根」は、昭和25年に「緑の羽根募金」を核とした国土緑化推進運動が展開されるようになって以来、そのシンボルとして親しまれてきました。

これからも、「緑の募金」運動のシンボルとして皆様に愛されることを願っています。

Ⅲ 緑の募金等を活用した取組の概要

公益財団法人かごしまみどりの基金が実施した事業の概要を紹介します。
なお、市町村みどり推進協議会の取組については、特集2でその一部を紹介します。

1 普及・啓発

森林やみどりは、私たちに多くの恵みをもたらしてくれていますが、高度化した社会の中で、人々が森林とふれあう機会が少なくなってきました。

このようなことから、より多くの人々に森林に関心を持ってもらうため、広報誌の発行やイベントの開催など様々な活動を行っています。

(緑化推進イベント等)

① みどりの感謝祭

県民に森林に親しんでいただくため、新緑の美しい4月29日(旧みどりの日)に、県との共催で、県民の森において「みどりの感謝祭」を開催しました。式典のほか森の散策、木工教室など多彩な催しが行われ、緑の少年団を始め家族連れなど約2,000人が、県民の森の一日を楽しみました。



感謝祭の参加者



緑の少年団の活動紹介



丸太切りなどのイベントを堪能

② 九州森林の日

平成20年5月に、九州7県と九州森林管理局が毎年11月第2日曜日を「九州森林(もり)の日」と定めたことを受けて、本県では毎年この時期に森林づくり活動に取り組んでいます。

平成25年度は、11月に、森林ボランティア団体や趣旨に賛同する企業等の参加を得て、南さつま市加世田の海岸防災林においてクロマツ(マツクイムシ抵抗性マツのスーパーグリーンさつま)の植栽を行いました。



③ 地区植樹祭等

多くの県民に植樹・育樹活動に参加していただき、森林整備、環境緑化への理解を深めていただくため、毎年、各地域の森林・林業振興協議会等の主催で地区植樹祭が開催されています。

かごしまみどりの基金では、地区植樹祭の開催に際し、理事長のメッセージとともに助成金を贈り、地区植樹祭を支援しています。

平成25年度の地区植樹祭の開催状況

地区名	実施年月日	場 所	内 容 等
鹿 児 島	平成26年 1月18日	いちき串木野市 観音ヶ池市民の森	市民の森公園内にソメイヨシノ19本、クルメツツジ100本、サツキ100本を植栽
南 薩	平成26年 1月25日	南九州市知覧町 横井場市有林	市有林にサクラ5本、200本を植栽
始 良 伊 佐	平成26年 1月18日	伊佐市大口曾木の 滝周辺	曾木の滝に近接する園地にソメイヨシノ15本、イロハモミジ100本を植栽
大 隅	平成25年 11月9日	大崎町大丸運動 公園	公園に抵抗性マツ300本、トベラ150本、シャリンバイ150本を植栽
熊 毛	平成25年 11月12日	太陽の里 中種子町 中央運動公園	公園内にギョボク16本、クヌギ300本を植栽
奄 美	平成26年 1月30日	奄美市住用マング ローブパーク	公園内にイジュ200本、シャリンバイ100本を植栽

北薩地区は、隔年開催のため平成25年度は開催されていない。

④ かごしま木材まつり

かごしま木材まつりは、広く県民の方々の県産材に対する理解を深め、利用拡大を図ることを目的として毎年実施されています。

かごしまみどりの基金では、県産材利用が森林所有者の森林経営意欲増進へ、さらには森林整備へと繋がることを期待して参加し、緑の募金の呼びかけをしています。

2 緑の少年団の育成と活動支援

① 緑の少年団の目的と組織

緑の少年団は、次代を担う子供たちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体です。

緑の少年団は、学校や地域を単位として小・中学生を中心に結成されており、森林づくりや緑化に関する学習や体験活動など様々な取組を行っています。

本県では昭和48年から逐次結成されており、平成25年度には、大崎町立持留小学校、奄美市立赤木名小学校、南九州市霜出で緑の少年団が結成され、現在活動している少年団は、57団、1,617人となっています。

また、各緑の少年団ごとに少年団を育成・指導する育成会が組織されており、育成会を含め、「緑の少年団鹿児島県連盟」が結成されています。

② 活動の状況

各緑の少年団は、各団独自の森林体験・学習や緑化活動、街頭募金活動などのほか、「みどりの感謝祭」や地区植樹祭などのイベントへの参加、地域の他の緑の少年団との交流活動など、積極的な活動を展開しています。

また、毎年8月に開催される「緑の少年団活動発表大会」では、日頃の活動内容を発表し合うとともに団相互の交流を図っています。

昨年は、8月3日、鹿児島市の県青少年研修センターで開催され、5つの少年団が日頃の活動について発表しました。



活動発表会
開会式の様子



心を合わせて元気に発表



発表会のあと、センター職員の指導で
工作等を楽しみました。

緑の少年団一覽

(平成26年4月現在)

支部	番号	団名	小学生		中学生		合計	支部	番号	団名	小学生		中学生		合計	
			男	女	男	女					男	女	男	女		
鹿	1	宮	4	7			11	北	1	佐志	17	14			31	
	2	桜洲	3	2			5		2	大馬越	10	5			15	
	3	福平	3	1	8	1	13		3	藺牟田	15	8			23	
	4	黒神中				5	5		4	永野	9	11			20	
	5	清水中			24	22	46		5	紫尾	11	8			19	
	6	吉野東中			14	7	21		薩	6	里	14	9	4	1	28
	7	河頭中			19	15	34			7	蔵之元	20	12			32
	8	皇徳寺中			9	9	18	小	計(7団)		96	67	4	1	168	
	9	福平中			17	4	21	始良・伊佐	1	高岡	22	19			41	
	10	緑丘中			12	21	33		2	霧島山	8	4			12	
	11	武中			15	15	30		3	竹子	16	16			32	
	12	東桜島中			5	5	10		4	安良	20	25			45	
	13	鹿大付属中			22	20	42		5	霧島小	8	8			16	
	14	武岡中			6	6	12		6	長谷	4	3			7	
	15	伊敷台中			9	11	20		7	川添	14	8	1	3	26	
	16	長田中			21	17	38		8	蒲生くすのき	4	2	3	1	10	
	17	西紫原中			13	16	29		9	高熊山	13	5			18	
	18	桜島中			27	24	51		10	本城	27	21			48	
19	坂元うちの	5	14			19	小	計(10団)		136	111	4	4	255		
20	一倉	6	7			13	曾於	1	恒吉	7	11			18		
21	三重岳	11	17			28		2	潤ヶ野	8	7			15		
22	鹿児島玉龍			179	180	359		3	財部北ふるさと	11	4			15		
23	遠見番山	5	1	3	3	12		4	持留小	17	12			29		
24	川上	5	7			12	小	計(4団)		43	34			77		
25	伊集院町	10	2			12	肝属	1	猿ヶ城	11	14			25		
26	冠岳	6	5			11		2	横尾岳	12	11			23		
小計(26団)		58	63	403	381	905		3	大原	9	7			16		
南薩	1	宮ヶ浜	10	9			19	小	計(3団)		32	32			64	
	2	知覧小	7	13			20	大島	1	高千穂	7	3			10	
	3	青戸	6	15			21		2	大山	12	12			24	
	4	霜出	9	15			24		3	赤木名	17	13			30	
	小計(4団)		32	52			84	小	計(3団)		36	28			64	
小計(4団)		32	52			84	合計(57団)		433	387	411	386	1,617			
地域単位(12団)			93	96	12	7	208	学校単位(45団)		340	291	399	379	1,409		

特集1

緑の少年団の活動状況

緑の少年団は、それぞれの学校や地域で、森林や緑に関する学習・体験活動のほか地域活動など様々な活動を行っています。ここにその活動の様子を紹介します。

(平成26年8月2日に開催された「鹿児島県緑の少年団発表大会」の発表内容をもとに基金事務局で編集したものです。)

横尾岳緑の少年団 (鹿屋市)

横尾岳緑の少年団は、昭和52年に結成された少年団です。

毎年8月に、地域のシンボル横尾岳の環境を守るため、展望台の草刈りや清掃、道路沿いのアジサイの手入れなどを行っています。また、シイタケの駒打ちや収穫体験活動も毎年行っています。緑の募金も大切な活動で、昨年は2つのスーパーで募金活動を行い、多くの方々の協力をいただきました。地区交流会では、木工作や樹木の名前調べなどの学習をしたり、他の少年団と楽しく交流しました。

これからも、地域の方々とともに、自然に親しみ、みどりを守り育てる活動に取り組んでいきたいと思っています。



横尾岳の美化活動

シイタケ駒打ち体験



緑の募金活動



地区交流会で
樹木の名前調べ ▶



恒吉緑の少年団 (曾於市)

昭和58年に結成された緑の少年団で、全校生徒18人で活動しています。

これまで先輩たちが育ててきた立派な学校林があり、地域の人たちと一緒に手入れをしたり、総合学習の時間に森林の働きなどを学んでいます。また、昨年は「森林の体験活動支援事業」を活用して、学校林の木の伐採、木材市場での販売、製材所で柱や板に加工されるまでの過程を学習しました。最後に、その材料を使って、みんなでベンチを作って地域の人に利用してもらいました。そのほか、みどりの感謝祭などに参加したり、緑の募金活動などを行いました。

今後も、学校林を大切にしながら、森林についての学習などをしていきたいと考えています。



伐採



木材市場



ベンチ作り



製材所

霧島山緑の少年団（霧島市）

霧島山緑の少年団は、発足して33年目を迎えています。

学校や地域の美しい環境づくりに取り組んでいます。また昨年は、「緑のバトン」運動に取り組みました。これは東北大震災の被災地に花木の苗を贈る活動で、ドウダンツツジの苗をみんなで育て、被災地の学校に送りました。受け取った学校から、とても感謝しているというお礼の手紙が届きました。

また、霧島市の「10万本植樹プロジェクト」にも参加し、木の名前や木を植えることが二酸化炭素の削減につながることを学びました。

これからも、地域の自然を生かし、守り、未来へつないでいく活動をしていきます。

「緑のバトン」運動 ▶



（苗木作り）



▲ 「10万本植樹」



▲ 地域緑化活動

蔵之元緑の少年団（長島町）

蔵之元緑の少年団は、昭和55年に結成された少年団です。

年間を通して毎週1回行っている「みのりタイム」では、校内の花壇作りなどに取り組んでいます。また、緑の少年団の伝統的な取組となっている「苗の宅配」活動では、2～3時間かけてふるいにかける土づくり、種まき、水やりなどの手入れを行います。こうして育てた苗を地域の各家庭に届けています。

また、外部行事として、昨年は薩摩川内市で行われた「森林ボランティアの日」の活動に参加し、森林ボランティアの大人の人たちと一緒に森づくりを行い、また他の少年団と交流しました。

そのほか、地区の植樹祭などのイベントにも参加しました。



▲ 「苗の配達」活動

「森林ボランティアの日」の活動に参加



◀ 地区植樹祭

知覧小緑の少年団（南九州市）

知覧小には、PTA山林部の人たちが手入れをしてくれている4つの学校林があり、緑の少年団はそこを中心に様々な学習や体験活動をしています。

昨年は、5月に木の枝やどんぐりなどを使った工作、6月には豊玉姫神社のお祭りで使う灯籠づくりを、8月には学校林でのキャンプを行いました。キャンプでは、竹で箸などを作ったり、川の生き物調べをしたりして楽しく過ごしました。9月は月見会をし、11月の山の秋祭りでは巣箱を作って設置しました。春、この巣箱からシジュウカラの巣立ちを見ることができました。

そのほか、緑の募金活動をしたり、地区植樹祭に参加したりしています。

このように、「自然の中で、学ぶ！遊ぶ！そしてつながる！」活動を行っています。



5月の ▶ 木工作



▲ 学校林でのキャンプ



◀ 巣箱作り

川上緑の少年団 (いちき串木野市)

川上緑の少年団は、川上小学校の全児童が所属して活動している少年団です。

校区内の緑化活動では、毎年、川上環境保全会の方々と一緒になって校区内の花壇の植え付けや手入れを行っています。また、PTAと一緒に茶摘みから茶園の整備、製茶の袋詰めを行っています。

また昨年のキャンプでは、学校林の竹などを使ったクラフト体験や川遊び・川の生き物調べなどを行いました。また、マダイの稚魚の放流活動にも参加しました。こうした活動を通じて、山、川、海のつながりも学習しました。

このほか、敬老園を訪問したり、イベントで緑の募金活動を行ったりしました。



製茶の袋詰め ▶

◀ 川上環境保全会の方々と
の緑化活動



▲ 川の生き物調べ



▲ マダイの稚魚放流

福平緑の少年団 (鹿児島市)

福平緑の少年団は、小学生から高校生までのメンバーで活動している少年団です。

メインの活動である「桜島どんぐりころころ植樹祭」については、毎年、どんぐり拾い、種まき、発芽後の水やりや草取りなどの手入れをし、2～3年かけて育てた苗木を持って植樹祭に参加しています。過去に植えた木の生長を確かめるのも植樹祭の楽しみになっています。

また昨年は、森林ボランティア団体の人たちの協力をいただいて間伐体験活動をし、森林の役割や森づくりには間伐が必要なことなどを学びました。

そのほか、シイタケ栽培にも取り組んでいます。また、毎年、地域の花いっぱい運動にも参加し、春、秋の花の苗の植え付けやその後の手入れなど、団員みんなで力を合わせて取り組んでいます。

「桜島どんぐりころころ植樹祭」の取組



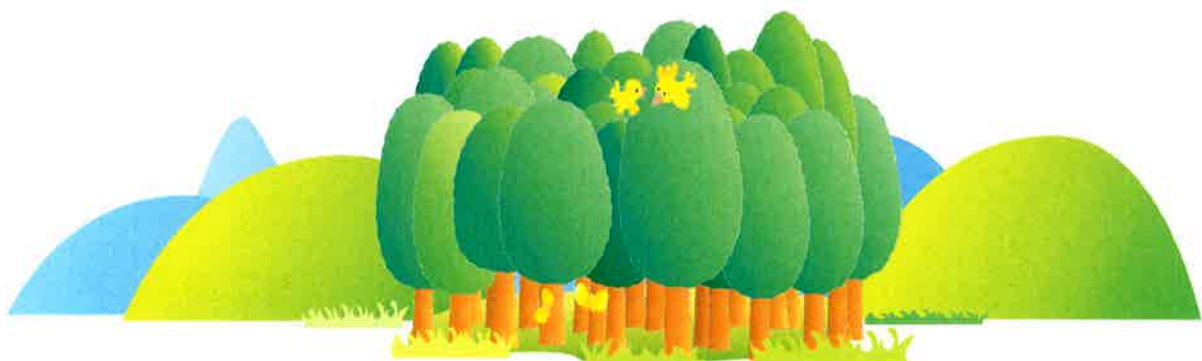
◀ 苗の手入れ



間伐体験



▲ 桜島どんぐりころころ植樹祭



3 森林ボランティアの育成と活動促進

森林や緑の保全・育成等に高い意識を持つ県民が、自発的に森林ボランティア団体を結成し、植樹や育樹活動に取り組んでいます。

各森林ボランティア団体は、地域の特性や構成員の持っている知識・技能を生かしながら、植栽、間伐等の森林整備をはじめ、県民や子どもたちを対象とした森林学習、木工・クラフト、自然観察会の開催など多彩な活動を展開しています。

かごしまみどりの基金では、森林ボランティアの育成を図るとともに、団体の活動を積極的に支援しています。

① 森林ボランティアの育成

○ かごしま森林（もり）の学校

かごしまみどりの基金では、森林ボランティアリーダー（森林インストラクター）を養成するため、平成20年度から「かごしま森林の学校」を開催しています。

「森林の学校」では、森林・林業に関する知識や森林体験活動の進め方などについて座学や実習を交えて学習します。受講生は、修了後はボランティアグループを結成するなどして、実践活動に取り組んでいます。

平成25年度は年間9日間の講義を実施し、7名が修了しました。



「かごしま森林の学校」の修了者数

年 度	平成20年 (第1回)	平成21年 (第2回)	平成22年 (第3回)	平成23年 (第4回)	平成24年 (第5回)	平成25年 (第6回)	累 計
人 数	29	25	32	22	32	7	147

○ 森林ボランティア技術研修

森林ボランティア活動においては、刈払機、チェーンソーは欠かせないものですが、危険性の高い道具です。そのため、みどりの基金では、刈払機、チェーンソーの安全・的確な操作技術を習得するための「森林ボランティア技術研修（初級、中級）」を開催しています。

平成25年度は初級研修を6回（受講者数85名）、中級研修を2回（受講者数10名）実施しました。



② 森林ボランティアの日の活動

9月第3日曜日は「森林ボランティアの日」となっています。森林を育てることの大切さを認識し、一人一人がそれぞれの立場で森林づくりに参加する気持ちを醸成するとともに、森林ボランティア活動の社会的評価を高めることを目的に定められたものです。

本県では、例年この日に、県下各地で活動している森林ボランティアが集結し、森林整備等の活動を実施しています。

昨年度は、平成25年9月15日、市民のいこいの森づくりを目指している薩摩川内市青山の「中パの森」で、森林ボランティアや緑の少年団、地元の自治会など約470名が下刈りや除伐、歩道整備などの活動に汗を流しました。



③ 森林ボランティア連絡会

森林ボランティア団体の相互の連携を図りながら、森林やみどりに関する啓発活動や森林整備活動などの効果的推進を図ることを目的に、「鹿児島県森林ボランティア連絡会」が結成されています。この連絡会には現在29団が加盟しています。

森林ボランティア連絡会加盟団体

No	団体名	代表 (事務局)	No	団体名	代表 (事務局)
1	鹿児島県森林インストラクター 連絡協議会	野方俊郎 (鹿児島市)	16	特定非営利活動法人 縄文の森をつくろう会	幸野昌廣 (指宿市)
2	鹿児島グリーンヘルパーの会	下野和義 (鹿児島市)	17	特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション	下津公一郎 (南さつま市)
3	特定非営利活動法人さとやま	山口友孝 (鹿児島市)	18	グリーンアートさつま	岩重澄夫 (日置市)
4	みどりの二季会	四本 紘 (鹿児島市)	19	はっぱクラブ	坂元光則 (薩摩川内市)
5	かごしまふるさと森林インストラ クターの会 山輝会(さんきかい)	清家優子 (鹿児島市)	20	田舎の環境を守る会	末吉弘典 (薩摩川内市)
6	森林の学校一步会	上原節雄 (鹿児島市)	21	い～さ竹林の学校	西 光明 (伊佐市)
7	さつまグリーンヘルパーの会	内山芳彬 (鹿児島市)	22	美しい「緑山会」	末永領一 (霧島市)
8	グローバル・フォレスター	福永敦子 (鹿児島市)	23	特定非営利活動法人四季の会	塩川英彬 (始良市)
9	フォレスト22	宮内英世 (鹿児島市)	24	鹿児島県グリーンマスターの会	大浦地政廣 (始良市)
10	かごしまどんぐり三期会	有田 肇 (鹿児島市)	25	蒲生郷おかべ会	川添正剛 (始良市)
11	もりびと 森林人	竹井靖人 (鹿児島市)	26	もりんちゅ 森人リン5の会	山元喜平 (始良市)
12	特定非営利活動法人 森と木の研究所	大坪弘幸 (鹿児島市)	27	特定非営利活動法人 森のヘルパー森林整備隊	前田 誠 (曾於市)
13	もりはやし倶楽部	木之下 勇一 (鹿児島市)	28	林生会	脇田 博 (曾於市)
14	特定非営利活動法人 みどりの風かんかん	神野 環 (鹿児島市)	29	大隅森づくりの会	出井一夫 (鹿屋市)
15	特定非営利活動法人 NPO-WBCかごしま	高山信義 (鹿児島市)			

4 緑の募金助成事業

この事業は、森林整備や緑化推進に意欲のある森林ボランティアや自治会等の団体を対象として、その地域活動を助長するために助成するものです。

平成25年度は次の団体の活動に助成を行いました。

No	実施団体名	事業内容等	実施場所
1	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	中学校の緑の少年団等による、「桜島どんぐりころころ植樹祭」で植樹した箇所草刈り等の森林整備、森林保全についての学習などを実施	鹿児島市
2		中学校の緑の少年団が自ら育てた苗木を持ち寄って植樹する「桜島どんぐりころころ植樹祭」を開催	鹿児島市
3	かごしまどんぐり三期会	子どもたちに森林の大切さを認識してもらうための里山の除間伐、歩道の整備、植樹及び一般参加によるシイタケ駒打ち体験を実施	鹿児島市
4	フォレスト22	県民への森林についての普及啓発の場とするため、「環境の森林」の広葉樹林の除伐、歩道整備を実施	鹿児島市
5	特定非営利活動法人鹿児島県技術士の会	「治水の森公園」の整備を図るため、地域住民と一緒にドングリから苗木を作り植樹する活動と森林の役割についての学習を実施	鹿児島市
6	もりはやし倶楽部	子供達の遊び・学びの場とするため、史跡「春山古城」周辺の荒廃した森林の整備、歩道整備を実施	鹿児島市
7	鹿児島県森林インストラクター連絡協議会	西俣地区の子供たちを対象とした森林学習・クラフト体験のほか、幹線道路緑地帯やふれあいの森等の下刈、グリーンファームでの植樹を実施	鹿児島市 始良市ほか
8	風の芸術展実行委員会	第10回「風の芸術展」を記念し、南浜館広場に市民や来訪者に親しまれる森づくりするためのケヤキの植樹を実施	枕崎市
9	高尾野駅駅舎周辺に桜の木を植える会	高尾野駅敷地内の荒れ地を整備し、景観の向上と緑化を図るために市民参加による桜の植樹を実施	出水市
10	出水地域木材利用推進協議会	森林や林業に関する情報提供を通じた森林を守り育てる意識の醸成、木の良さのPRを図るため「木材まつり」を開催	出水市
11	い～さ竹林の学校	活動フィールドの整備とそのフィールドを活用して幼稚園児等の森林体験（タケノコ掘り、林内活動等）を実施	伊佐市
12	蒲生郷「おかべ会」	森林の重要性を啓発するため、活動拠点である「『友愛』さとの山」の森林整備と併せ、地域の小学校、保育園の親子による自然体験活動、学習等を実施	始良市
13	あいら森林の学校実行委員会	新設の小学校に市有林の木材が使われたことを契機に、生徒を対象とした伐採見学、丸太切り、伐採跡地への植樹体験など森林を知るための活動を実施	始良市
14	森林の学校一歩会	荒廃竹林の整備、市民参加によるクヌギの植栽、シイタケ駒打ち、タケノコ掘り体験活動を実施	始良市
15	森人リン5の会	雑木林の除伐、下刈りを実施するとともに県民を対象に巣箱作り、シイタケ駒打ち体験活動を実施	始良市
16	オールかごしま住まいのネットワーク	森林の大切さを理解してもらうため、森林についての学習や森にちなんだクイズ大会、木工体験、植樹活動を実施	始良市

No	実施団体名	事業内容等	実施場所
17	鹿児島県水域環境美化推進協議会	「水のえがおキャンペーン」の一環として、バスツアー参加者により、さえずりの森での森林散策と木工クラフト、植樹体験、始良市の海岸清掃等を実施	始良市ほか
18	特定非営利活動法人四季の会	森林への理解を深めるため、県民の森、さえずりの森において森林の散策、山菜・タケノコ収穫体験、竹工作等を内容とするバスツアーを実施	始良市 霧島市
19	森林のまつり実行委員会	森林整備の重要性、木の良さ、緑化の推進等に関する普及啓発を図るため「森のまつり」を開催	霧島市
20	みどりの二季会	霧島市轟木の滝周辺の荒廃森林の整備、ジュニア樹木博士講座等児童・生徒の森の体験学習を実施	霧島市など
21	大隅流域森林・林業活性化センター	「おおすみ木材まつり」を開催し、パネル展示や体験活動、展示即売等を通じて、森林の大切さの啓発や、地域産材のPRを実施	鹿屋市
22	国上中目自治会	地域住民の緑化への理解を深めるとともに景観向上を図るため、地域のグラウンドに桜の植樹を実施	西之表市
23	西之表市桜園自治会	桜島からの移住100周年記念事業として、地域住民参加により公民館やグラウンドに桜の植樹を実施	西之表市

No13 あいら森林の学校実行委員会

始良市では、来春の開校を目指して「松原なぎさ小学校」の建設が進められています。その建築用材として、市有林の木が使われたことから、その木を育てた森のことを知ってもらおうと実行委員会が組織され、「森林の学校」が開催されました。

この催しには、4年生（5クラス）が参加し、行き帰りのバスの中ではNPO法人四季の会による森林に関するクイズや学習などを、また現地では大木が伐採される様子を見学や、丸太切り体験などを行いました。最後に参加者全員で、再び立派な森林になることを願いながらスギの苗木を植えました。



丸太切り体験



みんなで記念の植樹



クラスごとに記念撮影

No6 もりはやし倶楽部

森林ボランティア団体もりはやし倶楽部は、鹿児島市春山地区の子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を作ろうと、史跡春山城址周辺の荒れた山の整備に取り組んでいます。昨年は人工林の間伐などとともに、子どもたちも交えて歩道の整備等を行いました。

整備された森林では、同倶楽部会員による森林についての学習活動が行われました。また、手作りの遊具で子どもたちが楽しく遊んでいます。



5 名木・古木等緑の文化財保全事業

この事業は、県内各地に存在する名木・古木等を保全することにより、県民の森林や緑化に対する理解を深めるため、平成21年度から実施しています。

この事業による保全対象は、名木・古木はもとより、特に文化財などに指定されていなくても地域の人々に親しまれている樹木も含まれます。各市町村みどり推進協議会から申請があったものについて、樹木医の診断を受け、その結果に基づき保全工事を実施します。

平成25年度は、11件の申請があり、それぞれ診断をした上で、次の5件の保全措置を実施しました。保全措置の必要がないと判断された6件については、診断書及び処方箋を送付し、それぞれで対応してもらうこととしました。

No	名 称	所 在 場 所	樹 種、本 数 等
1	権太桜	鹿児島市喜入町	ソメイヨシノ (1本) 推定 100年以上
2	宇宿小学校のケヤキ	鹿児島市宇宿	ケヤキ (1本) 推定 120年以上
3	尾下神社社叢	指宿市山川	サクラ (1本) ナギ (2本)
4	川辺小学校の大センダン	南九州市川辺町	センダン (2本)
5	赤尾木城のイヌマキ	西之表市西之表	イヌマキ (1本)

No5 赤尾木城跡のイヌマキ

西之表市の史跡赤尾木城跡（現在の榕城小学校）のイヌマキは、長年、根元を踏みしめられ、あるいは降雨に表土を洗い流されて、根が浮き出し、衰弱が懸念されていました。

このたびの保全措置では、根を保護し伸長を促進するための木柵工と客土を行いました。併せてイヌマキを被圧している隣接のアコウの剪定等を行いました。



着工前の根のようす



隣のアコウにより被圧されていました



アコウの枝を剪定
切断面は防腐処理します



土が流失しないよう
木柵を設置し、木の生育
に適した土を入れます



保全措置の完了
これから徐々に根を張って、元
気になっていくことでしょう

6 企業等との連携による森づくり

環境問題に対する企業等の意識の高まりに伴い、近年、企業等からの緑の募金も増加傾向にあります。

このような中、より直接的に森林づくり等に取り組みたいという意向を示される企業・団体も出てきています。こうした企業・団体の意向を受け、かごしまみどりの基金がコーディネーターとなって、森林ボランティア団体とも協力しながら、森づくり活動を進めています。

アサヒビール(株)鹿児島支社との連携

平成26年6月14日、同社社員・家族と森林ボランティアの参加により志布志市新若浜地内の「志布志海辺の森」の下刈りを行いました。

ここは、平成23年11月に、将来防風林となるように、抵抗性マツ（スーパーグリーンさつま）、ウバメガシ、ヒメユズリハなどを植栽した場所です。



鹿児島信用金庫との連携

同金庫からの用途指定緑の募金を基に、NPO法人四季の会の協力を得て、県民の森（丹生附地区）のスギ・ヒノキ林の間伐を行い、一部に、季節を楽しめるようシャクナゲを植栽しました。

みどりの感謝祭（4月29日）の日に、同金庫の職員・家族等の参加により森林保全活動を行う予定でしたが、天候の都合で中止のやむなきに至りました。



間伐前



間伐後



間伐後の森林とシャクナゲ

生活協同組合コープかごしまとの連携

生協コープかごしま、NPO法人さとやま、当基金とによる森林整備等に関する共同宣言に基づき、平成23年度から森林の整備とコープ会員による保全活動に取り組んでいます。

平成25年度は昨年に引き続き竹林の整備、樹下植栽をしたイチイガシ、メアサスギの下刈り等を行うとともに、12月9日、会員によるミニ保全と学習活動を行いました。



竹林の整備



ミニ保全活動
(センリョウの草取り)



ミニ保全活動参加者

特集2

みどりの基金を活用した 市町村みどり推進協議会の取組

各市町村みどり推進協議会では、自治会等の協力をいただきながら家庭募金、企業募金、イベント募金等様々な形での募金活動を実施しています。その募金はいったんかごしまみどりの基金に納められた後、6割がそれぞれに交付され、市町村みどり推進協議会ではその交付金をもとに、地域の実情等をふまえた自主的な森林整備や緑化推進などの活動を展開しています。

以下、その取り組みの一部を紹介します。

鹿児島地区

鹿児島市緑化推進委員会

鹿児島市緑化推進委員会では、毎年、町内会を対象に緑の募金についての説明会を開催し、家庭募金を中心にご協力をいただいております。

緑化の推進と意識の高揚を図るため、緑の募金に取り組む町内会や学校に対して、樹木や木製プランター等の贈呈を行っています。また、森林整備の大切さについて理解を深めてもらうために、市民の方を対象とした間伐などの体験活動や、学校に対し緑化に関する書籍を贈呈しています。

このほか、募金活動に際して、緑化グッズの配布や、緑化推進団体への助成を行っています。



◀ 木製プランターの贈呈

学校へ図書への贈呈 ▶



◀ 森づくり体験活動

南薩地区

南さつま市みどり推進協議会

当協議会では、みどりと花に満ちた、安らぎと潤いのある郷土づくりに資することを目的とし、活動を実施しています。

募金活動は、自治会による家庭募金を中心に取り組み、多くの市民の皆様からご協力をいただいております。この募金を基に地域の緑化活動や学校環境緑化事業に取り組んでいます。

また、毎年10月に開催される「大浦まつり」や「笠沙フェスタ」においては、木材PR活動の一環として木製手形を作成・配布するとともに、イベント募金の協力も実施しています。

なお、平成25年度から県立吹上浜海浜公園に隣接する国有林では、県等が主催する「九州森林の日」の植樹活動が行われ、本協議会も地域住民への開催を周知しています。

今後も、みどりの募金事業の推進に努めて参りたいと考えています。



◀ 学校の環境緑化活動



大浦まつり ▶
での木工作

北薩地区

阿久根市みどり推進協議会

当協議会では、家庭募金を中心に、職場募金や学校募金により募金活動を行っています。

市内の全区長、全小・中学校へは、文書で募金への協力依頼を行っており、また、防災無線でも周知を図っているところです。家庭募金では、市内全ての77の区で協力をいただいています。

それらの募金活動により頂いた募金を活用し、小・中学校や市内各区へ緑化樹や緑化資材等を配布し、地域や学校の緑化の推進に役立てています。

今後も、市民の方々から頂いた募金を活用し、地域の緑化の推進に努めていきたいと考えています。



各学校や区に配布される緑化樹や花の苗



始良・伊佐地区

伊佐市みどり推進協議会

伊佐市みどり推進協議会は、伊佐市の緑豊かな地域の特性を活かし、公共施設や家庭等における環境緑化を図り安らぎと潤いのある地域づくりをすすめるため、市内のコミュニティ協議会、小中学校、老人クラブ等に緑化整備費助成を行っています。また、緑の少年団に対して地域における緑化活動を支援するため、運営費の補助（2団体）を実施しています。緑の募金活動は家庭募金が中心です。加えて、緑の少年団による街頭募金活動を行うなど、皆さまからのご協力をいただいています。



▲ 植樹祭への参加

緑の少年団の活動状況



▲ ヒマワリの種まき



◀ クラフト体験

曽於地区

大崎町みどり推進協議会

大崎町みどり推進協議会では、家庭募金を中心に募金活動を実施しています。

本協議会では、毎年春と秋に計3,600本の花の苗を各公民分館（校区）へ配布し、緑化の推進に努めています。

平成25年度は、大崎町で「おおすみ植樹祭」が開催され、約350人の方々に参加をしていただき、抵抗性マツ、シャリンバイ、トベラを計600本植栽いたしました。

また、大崎町では新しく「持留小緑の少年団」が結成され、この植樹祭の場で、団旗が授与されました。

今後も町民の皆様の御理解・御協力を頂きながら、緑化の推進やみどりの少年団活動の支援に努めて参りたいと考えております。

平成25年度おおすみ植樹祭



◀ 植樹活動



持留小緑の少年団への団旗授与

肝属地区

南大隅町みどり推進協議会

南大隅町みどり推進協議会では、家庭募金・学校募金等の募金活動を実施しており、町民の皆様にご協力いただいた募金を活用して、緑化の推進に取り組んでいます。

本協議会では、町内の小中学校の緑化を推進するほか、南大隅町社会福祉協議会と連携して、高齢者や地域ボランティアの緑化活動を支援しており、「ふれあい・いきいきサロン活動」の一環として、月1回、地域の集会施設の緑化等に取り組んでいます。

はまゆう、コスモス、ひまわり等の花の名前をつけたサロン会が町内46ヶ所（会員760名）に組織され、毎年、季節毎に綺麗な花を咲かせて地域の方々を楽しませています。

今後も緑の募金を利用して、町内の緑化を推進し、地域住民が安心して暮らせるよう取り組んで参ります。



◀ 学校環境緑化の取組



▲ サロン会の取組

熊毛地区

屋久島町みどり推進協議会

屋久島町みどり推進協議会では、町広報誌の発行に併せて「緑の募金」に関するチラシを配布し、町民の方へ募金に関する御理解と御協力をお願いしています。

募金については、各公民館長へ依頼を行い、集落毎に1世帯当たり100円の協力を頂いています。

交付金の活用については、公民館が中心となり婦人会、子供会、老人クラブ等と集落内にある花壇に花の苗を植栽し、緑化の推進を図りました。

今後も、各集落と連携して緑の募金に対する普及啓発や緑化活動の推進に努めてまいります。



公民館を中心とした緑化活動
(子どもたちも参加しています。)



大島地区

奄美市みどり推進協議会

当協議会では、自治会からの家庭募金を中心に協力店舗や役場窓口等に募金箱を設置し募金活動を行っております。

平成25年度は、住用地区にて「奄美群島地区植樹祭」が開催され、健全な森林の育成や緑化推進の重要性を呼びかけることができました。

笠利地区においても「赤木名緑の少年団」が結成され、森林とのふれあいや体験活動を促進し、森林を守り育てる活動の輪を広げ、街頭募金を実施しながら森林の持つ重要性をPRしております。

今後も、緑の募金活動を推進し、自治会等への緑化資材の配布や緑の少年団の活動助成を通じ、緑化の推進に努めてまいります。



奄美市住用で開催された
地区植樹祭



新たに結成された赤木名
緑の少年団も参加

参考

公益社団法人国土緑化推進機構の事業 (本県関係分)

公益社団法人国土緑化推進機構では、「緑の募金」や「緑と水の森林ファンド」等をもとに、緑化推進に係る全国的な取組を行っています。

その中で、平成25年度に本県で実施されたものを紹介します。

1 緑の募金事業

緑の募金 一般公募事業 (森林整備)			
1	グリーンアートさつま	森林の整備を促進し、再生可能な循環型資源の造成を図る	日置市
2	はっぱクラブ	平成25年度 第11回「森林ボランティアの日」活動in『中パの森』の開催	薩摩川内市
3	みどりの二季会	児童の自然観察と森づくり (3年目)	県内
4	田舎の環境を守る会	荒廃竹林 (森林) の整備	薩摩川内市
緑の募金 特定公募事業 (緑化の推進)			
1	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり (桜島どんぐりころころ植樹祭)	鹿児島市
2	特定非営利活動法人 森と木の研究所	「くにの松原」保全・再生事業	大崎町
緑の募金 ふるさとの森林再生事業 (緑化推進)			
1	日本樹木医学会 鹿児島県支部	宮川小学校記念樹 (サクラ) 及び校庭衰退木樹勢回復事業	鹿児島市
緑と水の森林ファンド 公募事業			
1	特定非営利活動法人 四季の会	次世代を担う青少年の育成へ ~林間学校による森林環境教育等の実施~	始良市
2	大隅流域森林・林業活性化センター	大隅材の利用促進を図るための木材まつりの開催	大隅地域
学校環境緑化モデル事業			
1	鹿児島市立大明丘小学校	樹木園及び環境学習施設の整備	鹿児島市
2	鹿屋市立輝北小学校	ビオトープ等の整備	鹿屋市

学校環境緑化モデル事業 No2 鹿屋市立輝北小学校



完成したビオトープ



学習パネル



完成したビオトープにメダカを放流

かごしまみどりの基金の組織体制

(1) 理事会、評議員会、運営協議会

【理事会】

平成26年8月1日現在

役 職	氏 名	所 属 ・ 職
理 事 長	伊 藤 祐 一 郎	鹿児島県知事
常 務 理 事	竹 ノ 内 洋 行	(かごしまみどりの基金)
理 事	新 川 龍 郎	鹿児島県環境林務部長
理 事	南 勝 之	鹿児島市経済局長
理 事	東 條 政 春	大崎町副町長
理 事	平 沼 孝 太	鹿児島森林管理署長
理 事	久 保 裕 之	(株)南九州ファミリーマート代表取締役
理 事	久 保 之 忠	鹿児島県森林組合連合会副会長
理 事	片 平 金 也	鹿児島県農業協同組合中央会専務理事
理 事	上 崎 克 博	鹿児島市立向陽小学校長 (県連合校長会)
監 事	田 中 健 吾	鹿児島県会計管理者 (兼) 出納局長
監 事	井 上 恒 治	(一社)鹿児島県造園建設業協会会長

【評議員会】

平成26年8月1日現在

氏 名	所 属 ・ 職
吉 野 純 一	鹿児島県環境林務部次長
原 之 園 哲 哉	鹿児島県教育庁次長
山 野 隆	鹿児島県森林組合連合会代表理事専務
宮 ノ 前 秀 明	(一社)鹿児島県治山林道協会専務理事
三 窪 等	鹿児島県木材協同組合専務理事
梅 北 宜 克	鹿児島県漁業協同組合連合会副会長
安 藤 司	(一社)鹿児島県建設業協会専務理事
寺 床 勝 也	鹿児島大学教育学部准教授
玉 川 恵	(株)丸屋本社代表取締役社長
山 野 真 理	(有)カルチャーコネクション代表
岸 尾 隆	鹿児島県市長会事務局長
坂 上 省 悟	鹿児島県町村会事務局長

【運営協議会】

平成26年8月1日現在

氏名	所属・職
入 佐 真 一	鹿児島県環境林務部森づくり推進課長
佐 藤 敏 郎	鹿児島森林管理署次長
上 野 茂 治	南九州市農林水産課長
比 良 政 志	湧水町農林課長
上 入 來 幸 一	鹿児島市緑化推進委員会委員
永 岩 和 幸	鹿児島県林業研究グループ連絡協議会長
地 福 俊 幸	緑の少年団鹿児島県連盟本部長
大 川 畑 の り 恵	鹿児島県青少年団体連絡協議会元会長
塩 川 英 彬	鹿児島県森林ボランティア連絡会代表
渡 康 嘉	(公社)鹿児島青年会議所理事長

(2) 事務局・スタッフ

職名	氏名	職名	氏名
(常務理事)	(竹ノ内 洋行)	総務企画係長	松 元 亜 希 子
事務局長	北之口 泰 哉	主 事	久 保 泰 子
事務局次長	前 原 雅 文		



「グリーン太郎」

事務局

公益財団法人 かごしまみどりの基金

住 所	〒892-0816 鹿児島市山下町9-15
電 話	099(225)1426・(225)1477
F A X	099(225)1511
E - m a i l	bokin@k-green.jp
ホームページ	http://www.k-green.jp



豊かな緑支える 緑の募金



- 豊かな森林をつくるために
- 地球温暖化防止のために
- 地域や学校のみどりづくりのために
- 緑の少年団や森林ボランティアの育成のために

緑の募金に御協力をお願いします!

公益財団法人かごしまみどりの基金に寄付された団体・個人には次のような税制上の優遇措置があります。

法人・団体が寄附した場合	通常の寄付金の損金算入限度額 (資本金等の額×0.25%+所得金額×5.0%)×1/2
個人が寄附した場合	寄付金控除(所得控除) [寄付金額(総所得の40%上限)-2千円]まで損金算入可

(公財)かごしまみどりの基金・市町村みどり推進協議会・鹿児島県

〒892-0816 鹿児島市山下町9-15 (林業会館4F) TEL099-225-1426・1477 FAX099-225-1511 <http://www.k-green.jp> E-mail:bokin@k-green.jp